

## 食に関する指導の全体計画(例) <特別支援学校(知的障害) 小学部>

児童の実態		
I 段階	II 段階	III 段階
食事やその流れがわからず、教師と一緒に行動など援助が必要である。	食事やその流れが大体わかるが、言葉がけ等教師の簡単な援助が必要である。	食事やその流れがわかり、おおよそ一人で取り組める。
保護者の願い		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて食事をとってほしい。</li> <li>・好き嫌いをしないで食べてほしい。</li> <li>・正しい姿勢で食べてほしい。</li> <li>・食事の前後にあいさつをしてほしい。</li> <li>・正しい食べ方を身に付けてほしい。</li> </ul>		

学校の教育目標
児童一人一人の能力や特性に応じた教育を進め、家庭や社会の成員として生活できる人間を育成する。 ○健康なからだと明るくたくましい心を育成する。 ○日常生活を豊かにする基本的な生活習慣を育成する。 ○社会生活や職業生活に必要な知識と技能を習得できるようにする。

食に関する指導目標
○食事についての正しい態度や習慣を養う。 ○発達や健康に役立つ食事について、正しい理解を深める。 ○みんなと一緒に楽しく食事をするを通して学校生活を豊かにするとともに、好ましい人間関係を育む。 ○準備や後片付けなどの活動の中で、役割を果たす。

小学部の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標		
I 段階	II 段階	III 段階
食事の流れと基本的な行動について、教師が手を添えて経験する。	食事やその流れがわかり、教師の簡単な援助を受けて自分で行う。	友達とできるだけ一人で食事をする。

指導内容			
指導形態	I 段階	II 段階	III 段階
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立表を知る。</li> <li>・写真でいろいろな食べ物を知る。</li> <li>・教師と一緒に、食後に歯磨きをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立表を読んだり、写真や絵を見たり、教師の話の聞いたりして、給食に関心をもつ。</li> <li>・簡単な介助で、食後に歯磨きをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の献立表を読んだり、写真や絵を見たり、黒板に文字や絵で書いたりして、給食への関心を深める。</li> <li>・食後に歯磨きをする習慣を身に付け、おおよそ一人で取り組む。</li> </ul>
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の食べ物を知り、季節にちなんだ料理の調理実習をする。</li> <li>・お楽しみ会でおやつを食べる。</li> <li>・スーパーマーケットで、食べ物の陳列を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の食べ物を覚え、季節にちなんだ料理の調理実習をする。</li> <li>・お楽しみ会で好きなおやつを選び、食べる。</li> <li>・スーパーマーケットで、好きなお菓子等の買い物をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節にちなんだ料理を調べ、調理実習をする。</li> <li>・スーパーマーケットで、好きなお菓子等の買い物をする。</li> </ul>
各教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードを見ながら、食べ物が出てくる歌に親しむ。</li> <li>・食べ物の絵を描いたり、粘土で作ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物が出てくる歌に親しむ。</li> <li>・食べ物の絵を描いたり、粘土で作ったりする。</li> <li>・食べ物の名称を覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞に出てくる食べ物をイメージしながら歌う。</li> <li>・食べ物の絵を描いたり、粘土で作ったりする。</li> <li>・食べ物の名称を覚えたり、数えたりする。</li> </ul>
給食時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備</li> <li>・教師と一緒に手を洗ったり、おしぼりをぬらしてしぼったり、エプロンを着用したりする。</li> <li>○食事</li> <li>・スプーンやフォーク、食器を使って食べる。</li> <li>・よくかんで食べる。</li> <li>・苦手なものも少しずつ食べる。</li> <li>・身振り等であいさつをする。</li> <li>・教師や友達と一緒に楽しく食べる。</li> <li>○片付け</li> <li>・教師と一緒にエプロンやおしぼりを片付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備</li> <li>・簡単な介助で手を洗ったり、おしぼりをぬらしてしぼったり、エプロンを着用したりする。</li> <li>○食事</li> <li>・スプーンや箸を正しく持って、座って食べる。</li> <li>・好き嫌いをなくし、何でも食べる。</li> <li>・こぼさないで食べる。</li> <li>・あいさつをする。</li> <li>○片付け</li> <li>・簡単な介助でエプロンやおしぼりを片付ける。</li> <li>・同じ食器を集める。</li> <li>・教師と一緒に食器等を洗い場まで運ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備</li> <li>・石鹸で丁寧に手を洗ったり、おしぼりをぬらしてしぼったり、エプロンを着用したりする。</li> <li>・簡単な配膳をする。</li> <li>○食事</li> <li>・スプーンや箸を正しく持ち、食器を持って正しい姿勢で食べる。</li> <li>・主食と副食を交互に、バランスよく食べる。</li> <li>・食前、食後はあいさつをする。</li> <li>○片付け</li> <li>・エプロンやおしぼりを片付ける。</li> <li>・食器と残飯を区別し、片付ける。</li> <li>・台拭きでテーブルを拭く。</li> </ul>
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい食事時間の習慣化を図る。</li> <li>○食事の援助をする教師の働きかけを受け入れたり、言葉かけに答えたりするなど対人関係の形成を図る。</li> <li>○会食を通して、仲間への意識を高める。</li> <li>○認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を図る。</li> <li>○食事動作など、日常生活の基本となる身体の動きを身に付ける。</li> <li>○食事を介して教師や友達と楽しく交流をし、意思のやりとりができるようにする。</li> </ul>		
学校行事	(1学期) ・1学期始業式 ・入学式 ・健康診断 ・遠足 ・運動会 ・個別懇談 ・プール学習 ・1学期終業式 ・家庭訪問	(2学期) ・2学期始業式 ・野外活動 ・遠足 ・修学旅行 ・学校祭 ・個別懇談 ・2学期終業式	(3学期) ・3学期始業式 ・個別懇談 ・卒業証書授与式 ・修了式
給食行事	・給食試食会 ・親子料理教室 ・給食週間		
個別相談、指導の方針	・アレルギー調査 → アレルギー食の準備 → 個別対応 ・栄養個別指導(肥満・著しい偏食等) ・再調理食		
地域・家庭との連携	・食育だより 月1回(保護者向け) ・学校給食試食会 ・食に関する講演会(給食内容と栄養等) ・食に関するアンケート(年2回) ・旬の食材の使用 ・献立表配付 ・アレルギー調査 ・連絡帳等での食事の様子についての情報交換		

食に関する指導の全体計画(例) <特別支援学校(肢体不自由)>

児童生徒の実態	<b>学校教育目標</b> 一人一人を大切にする教育を進め、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、力強く生き抜く力を養い、自立への基礎を培う。	<b>関係法令等</b> ・教育基本法 ・学校教育法 ・学校給食法 ・食育基本法 ・学習指導要領 ・食に関する指導の手引 ・あいち食育いきいきプラン												
	<b>食に関する指導目標</b> ①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。【食事の重要性】 ②心身の健康や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。【心身の健康】 ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。【食品を選択する能力】 ④食物を大切にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をはぐくむ。【感謝の心】 ⑤学校給食活動をとらして、食事のマナーや人間関係形成能力を身に付ける。【社会性】 ⑥各地域の産物や食文化を理解する。【食文化】													
療育所 保育園 幼稚園 幼稚部	<b>発達段階に応じた食に関する指導の到達目標</b>													
	<b>教育課程 A</b> ・望ましい食習慣を身に付け、様々な食品の中から有用なものを選択する力を養う。 ・衛生的で合理的な作業ができ、仲間と協力して食事の環境を整えようとする意欲を養う。 ・食べ物の流通に関心をもち、食に関わる様々な人たちに感謝する気持ちを養う。	<b>教育課程 B</b> ・食べることや食べ物に興味関心をもち、好き嫌いせずに食べようとする姿勢をもつ。 ・食事のマナー・きまりを理解し、仲間と協力して、食事の環境を整える。 ・食に関わる様々な人たちに感謝する気持ちを養う。	<b>教育課程 C</b> ・食べることや食べ物に興味・関心をもち、適切な食形態でいるいるな教師と摂食の向上を図る。 ・食べる機能を高め、基本的食習慣の確立を図る。											
	<b>発達段階に応じた食に関する指導内容</b>													
<b>教育課程 A</b> <b>各教科</b> ○食に関する指導の内容を、各教科の指導内容と関連させ、正しい知識の習得を図る。 ○給食を教材として活用しながら、食への関心を深める。 <b>『関連教科』</b> <小学部> ・国語 ・算数 ・生活科 ・社会科 ・理科 ・家庭科 ・体育 ・外国語活動 ・音楽 ・図画工作 <中学部> ・国語 ・数学 ・社会科 ・理科 ・保健体育 ・美術 ・英語 ・技術家庭科 ・音楽 <高等部> ・国語 ・数学 ・地理 ・歴史 ・公民 ・理科 ・保健体育 ・英語 ・家庭科 ・情報 ・音楽	<b>教育課程 B</b> <b>各教科</b> ○各教科の学習と食を関連つけて指導し、総合的に指導するとともに、指導内容を精選するなどの工夫をし、知識の習得を図る。 <b>『関連教科』</b> <小学部> <中学部> <高等部> ・国語 ・国語 ・英語 ・国語 ・英語 ・算数 ・数学 ・体育 ・数学 ・英語 ・体育 ・美術 ・音楽 ・社会 ・保健体育 ・音楽 ・理科 ・音楽 <b>教科等を合わせた指導</b> ○生活に結びついた具体的な活動を学習の中心に据え、学習によって得た食に関する知識や技能を実際の生活で応用できるようにする。 <b>『指導項目』</b> ・日常生活の指導 ・生活単元学習 ・作業学習	<b>教育課程 C</b> <b>自立活動</b> <健康の保持> ○健康状態の維持・改善に必要な生活リズムの形成 ・食事をおいしく食べるために、覚醒と睡眠、呼吸・排泄・排汗・排泄・衛生という生活習慣や生活リズムに関する内容を関連づけて指導を行う。 <心理の安定> ○食行動・食習慣の改善(偏食、肥満傾向等への対応) ・食の大切さを理解させるために、運動制限・運動不足等で肥満傾向にある児童生徒や、食行動・食習慣の偏りのある児童生徒に対し、その原因となる背景にアプローチできるように、担任、家庭、医師等の連携の下で指導を行う。 <環境の把握> ○安全な食環境の整備 ・暖房、照明、湿度などに配慮し、身体的に気持ちよく集まることができる食環境を整える。 ・自動食器、特殊食器等を必要に応じて活用し、食環境づくりに努める。 ・大きさ、向き、とらみ、食材の選定などに留意し、食べやすい状況と調理を工夫する。 ・姿勢を安定させるための補助用具を活用し、嚥下や嚥下を防止、積極的な随意動作を引き出す工夫を行う。 <身体の動き> ○食べる機能及び食事動作の向上 ・児童生徒の食べる機能の実態を把握し、食形態(初期食・中期食、普通食など)を合わせ、食べる機能を高める。また、スプーン柄の形状を工夫するなど、補助具や自動具を効果的に活用し、児童生徒の主体的な取り組みを促す。 <人間関係の形成><コミュニケーション> ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・食事を楽しくするために、11頃から児童生徒と食事の支援者との温かい人間関係づくりに努め、お互いに安定した心理状態で食事指導を展開する。 ・自分で食べたいものが選べるように、普段から表情や身振り、各種の機器等を用いた意思の表出が行えるような指導を行う。 ※嚥下障害等食べる機能に障害のある児童生徒の指導に当たっては、校内摂食コーディネーターと連携を図りながら、当内保の診断や助言に基づき、食形態や指導方法について保護者と学校の関係者間で十分な検討を行う。												
<b>道徳</b> ○道徳指導の内容で、食に関連した項目について指導し、心を育てる。 <b>『指導項目』</b> ・生命尊重(食べ物の命) ・尊敬、感謝 ・礼儀、マナー ・郷土愛(郷土食) ・思いやり <b>総合的な学習の時間</b> ○食に関する課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ○食に関する課題に取り組む中で、ものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 <b>『関連項目』</b> ・探検 ・地域 ・福祉健康 ・国際理解 <b>自立活動</b> <健康の保持> ○規則正しい食事時間の習慣化や、食事内容などの改善を図り、日常生活における適切な健康の自己管理ができるようにする。 <心理の安定> ○食欲や食量は、心理的な要因が関与する場合もあることから、学校給食等を通して食事時の情緒の安定を図り、必要に応じて環境を工夫する。 <人間関係の形成> ○食事を支援する教師の働きかけを受け入れたり、呼びかけに応えたりするなど対人関係を広げるための基礎的な学習を重視する。	○月目標と関連項目を加味した指導を行う。 <月目標> <table border="1"> <tr> <td>4月 給食のきまりを守ろう</td> <td>9月 好き嫌いをしないで食べよう</td> <td>1月 感謝して食べよう</td> </tr> <tr> <td>5月 準備、後片付けをしよう</td> <td>10月 食べる量を調節しよう</td> <td>2月 栄養素の働きを知ろう</td> </tr> <tr> <td>6月 衛生に気をつけよう</td> <td>11月 よくかんでゆっくり食べよう</td> <td>3月 食後を楽しく過ごそう</td> </tr> <tr> <td>7月 食べ物に関心をもちよう</td> <td>12月 食事マナーを知ろう</td> <td></td> </tr> </table> <b>『関連項目』</b> セレクトデザート、行事食、郷土食、世界の料理、地域の食材活用、卒業生リクエスト献立 今日の給食献立を知る、衛生(手洗い・うがい)、配膳・片付け、食事のマナー、献立名、食品名、食品の働き	4月 給食のきまりを守ろう	9月 好き嫌いをしないで食べよう	1月 感謝して食べよう	5月 準備、後片付けをしよう	10月 食べる量を調節しよう	2月 栄養素の働きを知ろう	6月 衛生に気をつけよう	11月 よくかんでゆっくり食べよう	3月 食後を楽しく過ごそう	7月 食べ物に関心をもちよう	12月 食事マナーを知ろう		特別活動 学級活動<給食時間> 児童会生徒会活動 学校行事 健康診断、遠足、運動会、交流会、野外活動、施設見学、修学旅行、社会見学、学習発表会、給食週間、卒業生を送る会
4月 給食のきまりを守ろう	9月 好き嫌いをしないで食べよう	1月 感謝して食べよう												
5月 準備、後片付けをしよう	10月 食べる量を調節しよう	2月 栄養素の働きを知ろう												
6月 衛生に気をつけよう	11月 よくかんでゆっくり食べよう	3月 食後を楽しく過ごそう												
7月 食べ物に関心をもちよう	12月 食事マナーを知ろう													
<b>家庭・地域との連携</b> ・食育だより、献立表、給食試食会、ホームページにおける給食画像紹介(毎日) ・地域の旬の食材の活用 <b>個別相談・個別指導</b> ・食物アレルギー除去対応のための面談、栄養相談、形態調整食の作り方など個別相談														